

<第10回 都市鉄道における利用者ニーズの高度化等に対応した施設整備促進に関する検討会>

# 高度なバリアフリーに係る 新たな利用者負担制度に関するアンケート調査について

1. 新たな利用者負担制度に関するアンケートの調査概要 1
2. アンケート調査フロー 2
3. アンケート調査スケジュール（案） 7

# 新たな利用者負担制度に関するアンケートの調査概要

- 今回のアンケート調査では、**鉄道駅の高度なバリアフリーに対する価値や必要性のほか、整備費用を鉄道利用者に負担を求めることについて、広く利用者の意見を聴取する。**

項目	内容
調査目的	鉄道駅の高度なバリアフリー※1について、 <b>広く利用者の意見を聴取する。</b> <small>※1 「鉄道駅の高度なバリアフリー」のメニューは、①バリアフリールートの複数化、②エレベーターの大型化または複数設置、③エスカレーターの設定、④ホームドアの整備 とする。</small>
調査エリア	全国を以下の5エリアに分けて意見を聴取 ①関東大都市圏、②近畿大都市圏、③中京大都市圏、④その他の大都市圏※2、⑤大都市圏に含まれない地域 <small>※2 札幌、仙台、新潟、静岡・浜松、岡山、広島、北九州・福岡、熊本の各大都市圏。</small>
調査年齢属性	2属性（高齢者・・・65歳以上 / 非高齢者・・・20～64歳）
調査対象者数	4,000人（各区分400人 × 10区分※3） <small>※3 10区分 = 5エリア × 2属性</small>
調査媒体	インターネット調査
調査内容	①鉄道利用状況 ②高度なバリアフリーに感じる価値 ③高度なバリアフリーの必要性 ④運賃に上乗せすることの賛否 ⑤妥当と思う上乗せの金額 ⑥運賃に上乗せすることに反対した場合は、その理由 ⑦どのような鉄道利用者に負担してもらうべきか  なお、④～⑥については、高度なバリアフリーの費用の <b>全て</b> 又は <b>一部</b> を鉄道利用者が負担する場合の各々について質問をする。 その際、既存の利用者負担制度※4を提示した後においても、改めて同様の質問をする。 <small>※4 空港ターミナルにおける旅客取扱施設使用料、鉄道の新線建設に係る加算運賃制度</small>

# アンケート調査フロー

全体を通じた質問（各ケースを提示する前に質問）

鉄道利用状況

高度なバリアフリーに感じる価値

高度なバリアフリーの必要性

ケース① 高度なバリアフリーの費用の全てを鉄道利用者が負担する場合

ケース② 高度なバリアフリーの費用の一部を鉄道利用者が負担する場合

既存の利用者負担制度※1の提示

ケース③ 高度なバリアフリーの費用の全てを鉄道利用者が負担する場合

ケース④ 高度なバリアフリーの費用の一部を鉄道利用者が負担する場合

全体を通じた質問（最後に質問）

どのような鉄道利用者に負担してもらえばいいか

各ケースにおける質問のフロー

運賃に上乗せすることの賛否※2

妥当と思う上乗せの金額※2

運賃に上乗せすることに  
反対した場合は、その理由

※2 質問の際には、下記の留意事項も併せて提示

- 運賃の上乗せは、高度バリアフリー施設の供用開始後に開始することを想定します。
- 鉄道利用者から集めた追加料金は、高度なバリアフリーにのみ使われ、鉄道会社の利益にはなりません。
- 集めた追加料金が必要額に達した際には、運賃の上乗せを終了します。
- 運賃へ上乗せする期間は、整備する施設の規模や上乗せ額によって変わってきます。
- 運賃へ上乗せされる金額については自費で支払うことを想定してお答えください。（あなたが会社などから交通費を支給されている場合につきましても、運賃へ上乗せされる金額については自費で支払うことを想定してお答えください。）

※1 空港ターミナルにおける旅客取扱施設使用料、鉄道の新線建設に係る加算運賃制度

# (参考) アンケート調査票(1/4)

## 日頃の鉄道の利用状況に関する確認イメージ

(1) 鉄道の利用頻度を教えてください。

- ① 週3日以上
- ② 週1日以上
- ③ 週1日未満

(2) あなたの鉄道の利用の仕方についてお答えください。

2-1) 鉄道の利用目的として、最も多いものをお答えください。

- ① 通勤（自宅と勤務先の往復）
- ② 通学（自宅と通学先の往復、ただし習いごと・塾は除く）
- ③ 業務（打合せ、セールス、購入、配達、作業など、仕事に関する目的での勤務先以外の場所との行き来）
- ④ 私事（買物、通院、食事、娯楽、社交、習いごと、観光、家族の送迎など、上記以外の私的な目的）

2-2) 最も多い利用目的における、鉄道の乗車時間（片道）の長さについてお答えください。

- ① 30分未満
- ② 30分以上1時間未満
- ③ 1時間以上1時間半未満
- ④ 1時間半以上

2-3) 最も多い利用目的において利用する券種についてお答えください。

- ① 通勤定期券
- ② 通学定期券
- ③ 普通券（ICカード（Suica・PASMO・ICOCA・PiTaPaなど）、切符、回数券など）

# (参考) アンケート調査票(2/4)

## 高度なバリアフリーの説明イメージ

これまで、鉄道駅のバリアフリーは、「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律（通称：バリアフリー法）」に基づき、国、地方公共団体、鉄道事業者の三者の費用負担等により、駅の出入口からホームへの1ルート以上の段差解消、障害者対応型トイレ、誘導用ブロック、ホームドアの整備等が着実に進められてきました。

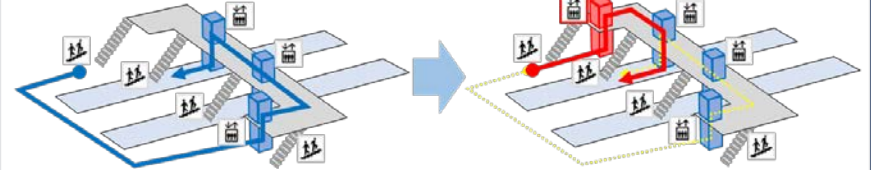
一方、昨今では、オリンピック・パラリンピック東京大会を契機として、共生社会を実現するため、誰もが安全で快適に移動できるユニバーサルデザインの街づくりの推進やバリアフリー水準の底上げに対する社会的要請が高まっております。また、鉄道利用者においても、バリアフリーやユニバーサルデザインに関するニーズ・意識が高まっており、今後、高齢化の進展等に伴い、より高い水準のユニバーサルデザイン化の要請がさらに高まることも想定されます。

こうした利用者ニーズの高まりに対応し、**誰もが安全で快適に利用できる鉄道駅とするため、より一層高い水準のバリアフリー①～④（高度なバリアフリー）を進めていくことが想定されます。**

### ①バリアフリールートの複数化

遠回りする必要が無いよう、**新たなバリアフリールート**を確保するためのエレベーターの整備。

（これまでは1日当たりの平均利用者数が3,000人以上の駅について、駅の出入口からホームまでエレベーター等による段差解消を1ルート以上確保することを目標として整備）



### ②エレベーターの大型化または複数設置

待ち時間が長くないよう、**エレベーターの大型化や、近くに2機目のエレベーター**の整備。

（これまではエレベーターのがこの大きさを基本的に11人乗り以上とすることで整備）



### ③エスカレーターの設置

階段での上り下りが円滑にできるよう、**エスカレーター**を整備。



### ④ホームドアの設置

更なる普及のために、大規模な駅以外にも、**ホームドア**を整備。

（これまでは、1日当たりの平均利用者数が10万人以上の駅についてホームドアを優先的に整備）



※1 ホームドアとは、駅のホームの端に設置され、ホームへの転落を防止する装置です。

※2 ホームドアを設置することで、線路への転落や、列車との接触を防ぐほか、人身事故による列車の遅れや運休を減らす効果があります。

# (参考) アンケート調査票(3/4)

## 高度なバリアフリーに感じる価値の確認イメージ

高度なバリアフリーについて、あなたはどのように感じますか。当てはまるものをすべてお答えください。

- ① 現在、自分は、高齢者、子供がいる、妊娠している、けがや病気などの理由で階段での上下移動が難しい状態なので、便利になると思う。
- ② 現在、自分は階段での上下移動が難しい状態ではないが、便利になると思う。
- ③ たまに重い荷物を持っている場合などには、便利になると思う。
- ④ 将来、自分が高齢者になった場合に、便利になると思う。
- ⑤ 将来、自分に子供ができた場合に、便利になると思う。
- ⑥ 将来、自分がけがや病気などにより階段での上下移動が難しくなった場合に、便利になると思う。
- ⑦ 駅を使う他の人（高齢者、子ども連れ、妊婦、けがや病気などの理由で階段での上下移動が難しい状態の人を含む）にとって、便利になると思う。
- ⑧ ホームドアがあると、自分が線路に転落したり、列車と接触したりするおそれがなく、安心して駅を使えると思う。
- ⑨ ホームドアがあると、人身事故が減り、列車の遅れや運休が少なくなると思う。
- ⑩ 将来、自分がけがや病気になった場合に、ホームドアがあると安心して駅を使えると思う。
- ⑪ 将来、自分が酔客となった場合に、ホームドアがあると安心して駅を使えると思う。
- ⑫ 自分以外の子ども連れ、けがや病気を患った方、酔客などにとって、ホームドアがあると安心して駅を使えると思う。
- ⑬ その他（具体的に-> \_\_\_\_\_）

## 高度なバリアフリーの必要性の確認イメージ

「高度なバリアフリー」を行うことについて、どう思いますか。

- ①必要      ②どちらかといえば必要      ③どちらともいえない      ④どちらかといえば不要      ⑤不要

# (参考) アンケート調査票(4/4)

## 運賃に上乗せすることの賛否の確認イメージ

あなたが利用する路線のいずれかの駅で、高度なバリアフリーを行うと仮定します。**高度なバリアフリーの整備費用の全て※1を運賃に上乗せし、あなたを含む路線の利用者に均等に負担してもらう**としたら、どう思いますか。

- ①賛成                      ③どちらともいえない              ⑤反対  
 ②どちらかといえば賛成      ④どちらかといえば反対

※1「一部」を提示する場合は、1/3を利用者に、残りの2/3を国、地方公共団体、又は鉄道事業者が負担することを例示

## 妥当と思われる上乗せ金額の確認イメージ

すべての方にお伺いします。**高度なバリアフリーの整備費用の全て※1を運賃に上乗せし、乗車する距離に関わらず1回の乗車につき一定の額だけ増える**と仮定します。このとき、あなたは最大何円までなら上乗せが妥当だと思いますか。

※1「一部」を提示する場合は、1/3を利用者に、残りの2/3を国、地方公共団体、又は鉄道事業者が負担することを例示

- ①1円も負担したくない  
 ②1回の乗車につき最大+5円まで  
 ③1回の乗車につき最大+10円まで  
 ④1回の乗車につき最大+15円まで  
 ⑤1回の乗車につき最大+20円まで  
 ⑥1回の乗車につき+21円以上

## 運賃に上乗せすることに反対する理由の確認イメージ

どちらかといえば反対・反対と答えた方に伺います。その理由として最も当てはまるものを**ひとつ**お答えください。

- ① 鉄道利用者のみが負担すべきではないと思うから※2  
 ② 鉄道利用者は負担すべきではないと思うから  
 ③ 高度なバリアフリーは不必要と思うから  
 ④ 自分には経済的な余裕がないから  
 ⑤ 高度なバリアフリー設備を使う人のみが負担すべきと思うから  
 ⑥ 徴収額が不明確だから  
 ⑦ その他（具体的に： ）

※2「一部」を提示する場合は、①の選択肢は除く

## 負担してもらうべき鉄道利用者の確認イメージ

利用者に負担を求める範囲についてお聞きます。利用する路線のいずれかの駅で高度なバリアフリーを行った場合、**どのような鉄道利用者**に均等に負担してもらうべきだと思いますか。

- ① 高度なバリアフリーを整備した駅の利用者  
 ② 高度なバリアフリーを整備した駅及び前後一定区間の駅の利用者  
 ③ 高度なバリアフリーを整備した路線の利用者  
 ④ 高度なバリアフリーを整備した鉄道会社が運行する複数経路にまたがる特定のエリアの利用者  
 ⑤ 高度なバリアフリーを整備した鉄道会社の利用者  
 ⑥ その他（具体的に： ）



日程	検討会	アンケート調査関係
4/11 (水) 本日	第10回検討会	<u>検討会にて</u> <u>調査内容について付議</u>
4/19 (水)		アンケート調査開始
4/24 (火)		アンケート調査終了
5/16 (火)	第11回検討会	<u>検討会にて</u> <u>調査結果の報告</u>